

がんばろう日本

～亀岡市は災害被災地の復興を支援します～

March 2019

広報No.671

キラリ 亀岡

■亀岡市の人口と世帯数

	平成31年 2月19日現在	平成30年 2月21日現在
人口	89,003人	89,636人
内訳	男	43,376人
	女	45,627人
世帯数	38,899世帯	38,686世帯

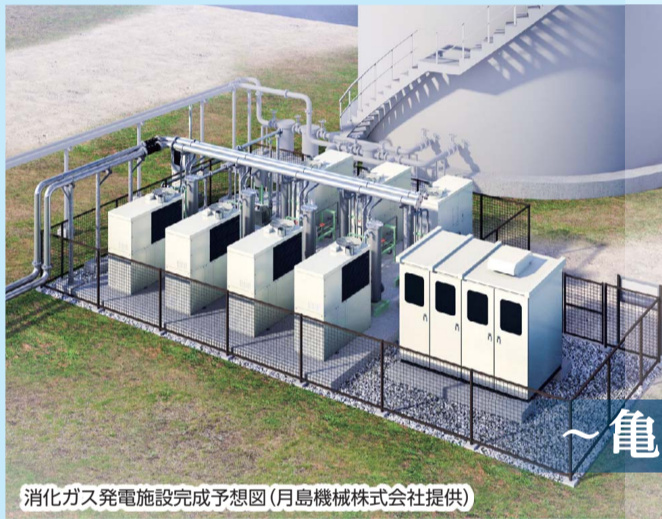
主な内容

- 1ページ 地球と人にやさしいまち ～亀岡エネルギー新時代～
- 2ページ さらに成熟した生涯学習都市として ～「第81回コレージュ・ド・カメオカ」～ ～「第1回光秀ゆかりのまち亀岡俳句大賞」表彰式～
- 3ページ 市民が主役のまちづくり ～シンボルプロジェクト企画発表会開催～
- 4ページ 過去最高!!ふるさと納税5億7,500万円! ～全国から集まる、亀岡へのエール～

編集発行:亀岡市市長公室秘書広報課 / 〒621-8501 亀岡市安町野々神8番地 / ☎0771-22-3131(代) ☎0771-24-5501
 ホームページ <https://www.city.kameoka.kyoto.jp> 電子メール office@city.kameoka.lg.jp フェイスブック <https://www.facebook.com/kameokacity>
 LINE@アドレス line://ti/p/@kameokacity ID @kameokacity



消化ガス発電事業に係る調印式(1月30日)



消化ガス発電施設完成予想図(月島機械株式会社提供)

地球と人に やさしいまち

～亀岡エネルギー新時代～



京都・亀岡メガソーラー発電所(西別院町)



エネルギー地産地消の取り組みを開始

市内発電電力の買い取りを開始(1月21日、記者発表)

市内発電電力を買い取り 進むエネルギー地産地消

亀岡市、亀岡商工会議所および地元金融機関などが出資する地域新電力会社「亀岡ふるさとエナジー株式会社」はこのほど、東京センチュリー株式会社(東京都)および京セラ株式会社(京都市)が共同出資する「京セラTCLソーラー合同会社」(東京都)と再生可能エネルギー電力引渡契約を締結。これにより、亀岡ふるさとエナジー株式会社は1月1日より、「京セラTCL

ソーラー合同会社」と「京阪メガソーラー株式会社」が共同で企画・開発した、約9万平方メートルに及ぶ「京都・亀岡メガソーラー発電所」(西別院町、出力3千キロワット)で発電された電力の買い取りを開始しました。

現在、亀岡ふるさとエナジー株式会社は市立小・中学校など市内の公共施設を中心に、約50施設に対し年間約360万キロワットの電力を供給していますが、今回の電力買い取りにより、約60割を市内で発電された再生可能エネルギー

で発電された再生可能エネルギーで賄うことが可能になりました。また、平成30年4月から12月までの9カ月で、電力を供給した市の公共施設の電気代は約900万円、削減されています。さらに、同社は亀岡市保健センターに災害対策および日常利用の蓄電池を設置するなど防災分野での連携も始まっています。

これらの取り組みをきっかけに、エネルギーの地産地消による地域活性化が本格化し、地域貢献、地方創生、環境保全事業のさらなる推進を図ることができそうです。

世界に誇れる「環境先進都市」を目指す亀岡市では、昨年の地域新電力会社「亀岡ふるさとエナジー株式会社」設立、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」など、さまざまな施策を展開しているところです。

このほど、新たな取り組みとして、エネルギーの地産地消を本格化する「市内メガソーラーからの電力買い取り」を開始し、また、未利用となっていたエネルギーを新たに活用する「消化ガス発電事業」に着手します。

下水処理時発生した消化ガス 発電に活用

1月30日、亀岡市は月島機械株式会社大阪支社(大阪府)と「亀岡市年谷浄化センター」消化ガス発電事業に係る基本協定を締結。市内で排出された下水の多くが処理される「年谷浄化センター」(三宅町)内に、月島機械株式会社が発電施設を設置し、処理過程で発生する消化ガスから発電するシステムを構築することになりました。

京都府内初となる官民連携、民設民営となるこの消化ガス発電事業は、2021年4月に稼働開始予定、年間で一般家庭約360世帯に相当する約132万キロワットの発電を見込み、これらの電力は亀岡ふるさとエナジー株式会社が買い取ることにあります。また、これまで未利用となっていたエネルギーを活用することにより、年間で約550トンのCO2(二酸化炭素)を削減することができ、地球温暖

化防止に貢献することができそうです。

市内メガソーラーからの電力買い取りと消化ガス発電事業により、地産地消のエネルギー循環をさらに進めることとなります。これは、環境保全に配慮しながら、地域活性化を図る新たなチャレンジです。亀岡市は今後も「環境先進都市」を目指し、「地球と人にやさしいまち」としての取り組みを推進してまいります。